OPTEX

古紙配合率100%再生紙を使用しています

ワイヤレスセキュリティシステム　WCX-12W/20N
ワイヤレスセキュリティシステムⅡ　WCX-12WⅡ/20NⅡ
ワイヤレスセキュリティシステムⅢ　WCX-12WⅢ/20NⅢ

人体検知機付送信器　取扱説明書

このたびは本製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。
ご使用になる前に必ず本取扱説明書をお読みください。
この取扱説明書は、保守・管理のために、システムの管理をされる方が、大切に保管してください。

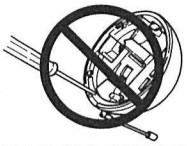
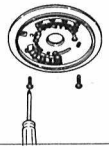
はじめに

人体検知機送信器　WCX-12W／20N、WCX-12WⅡ／20NⅡ、WCX-12WⅢ／20NⅢは、それぞれワイヤレスセキュリティシステム／ワイヤレスセキュリティシステムⅡ／ワイヤレスセキュリティシステムⅢの受信器と組み合わせて使用し、侵入者等をセンサで検知することにより、小電力セキュリティ電波を使用して、電話回線などに自動送信機等を介して、緊急通報を行うための装置です。
その他の用途での使用はしないでください。

1．安全にご使用いただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	⚠ 注意	⃠
この内容を無視して、誤って取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この内容を無視して、誤って取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	この記号は禁止を表します。

⚠ 警告	⚠ 警告	⚠ 注意
リチウム電池を火中に投棄しないで下さい。破裂する恐れがあります。	分解や修理は絶対に行わないで下さい。火災や機器破損の恐れがあります。 	確実に取付けて下さい。落下によるけがの原因になります。 

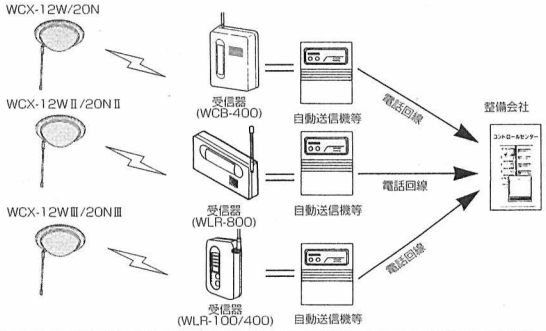
お断り

ワイヤレスセキュリティシステムⅡは侵入者や火災（別途専用センサを取付けた場合）などを検知し、警報を発するものです。盗難・火災などの防止機器ではありません。
万一発生した盗難・火災などによる損害については責任を負いかねます。

2．特　長

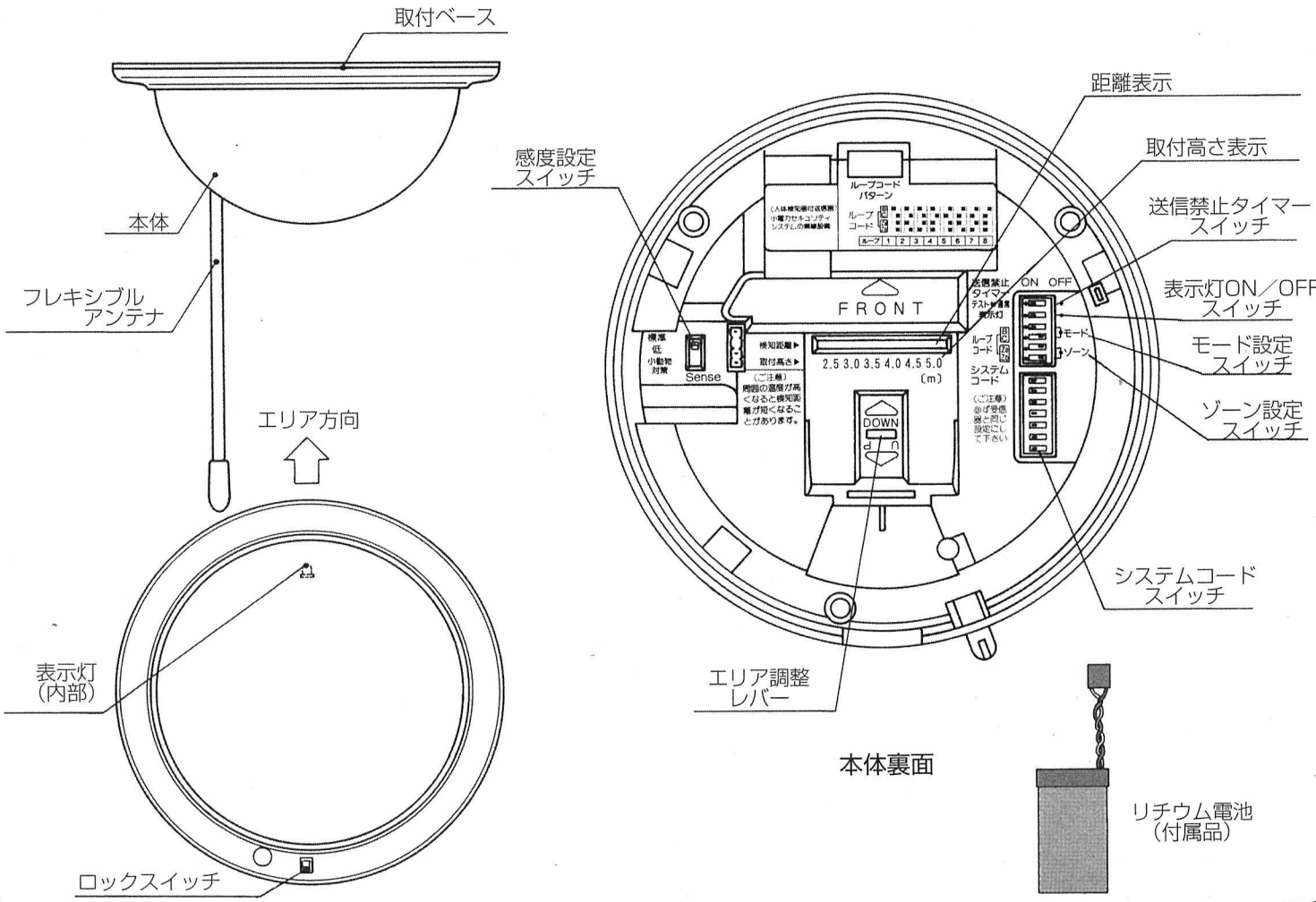
○小電力セキュリティシステムの無線設備
　この製品は、小電力セキュリティシステムの無線設備としての技術基準適合認定を受けております。技術基準適合認定品等の自動通報機等に接続することで、電話回線等を利用して、外部へ連絡することができます。
○工事の簡略化
　侵入者を検知し信号を無線で受信器に送信します。センサから受信器までの長距離の配線をワイヤレス化することができますので、工事が簡単です。
○送信器の判別機能
　モード、ゾーン、ループの設定をおこなっていただくことにより、受信器の表示灯でどの人体検知器付送信器が検知・送信したのかを知ることができます。
○送信器と受信器との間を常時監視（スーパーバイズド機能）
　一定時間ごとに送信器から受信器に異常のないことを送信します。万一、電波状況が悪くなり電波が届かない場合や、送信器が破壊・盗難される等の異常が起きた場合、受信器の表示で知ることができます。
○標準電波到達距離　100m（但し、周囲の状況により距離が短くなることがあります。）
　市販の特定小電力トランシーバー・コードレス電話とほぼ同等の電波到達距離が得られます。
○単発送信にならない送信パターン
　送信禁止タイマーを「通常」にした場合、３回の送信後３分の送信禁止（ディレータイマー式）になる為、電池寿命をのばしつつ侵入者があった場合３回までの連続検知・送信をおこないます。
○抜けの少ない高密度エリア
　検知エリアが上下に高密度なカーテン状になっています。
○外乱光の影響を大幅にカット
　２重のシールドにより外乱光に対する高い信頼性が得られています。
○感度を温度補正
　本製品の設置された環境（温度）の変化に合わせて感度を補正します。

3．電気通信回線設備への接続



この無線装置は電気通信回線に接続して使用するものです。ただし受信器は自動送信機等（技術基準適合認定品に限ります。）を介して電気通信回線設備に接続して使用する為、利用する回線の種類は特定しておりません。受信器の自動送信機等（認定品）への接続は、受信器の無電圧接点出力端子（受信器の取扱説明書をご覧ください。）を自動送信機等（認定品）のセンサ入力端子等へ接続してご使用ください。

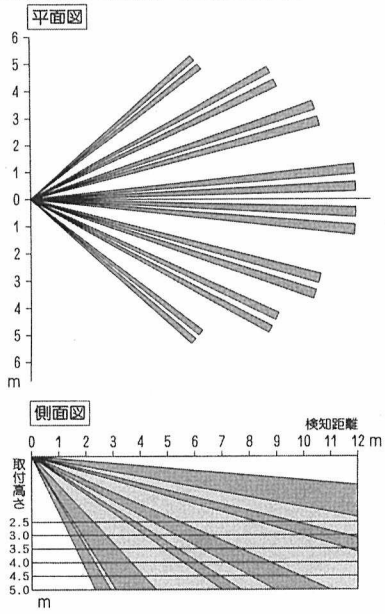
4. 各部の名称



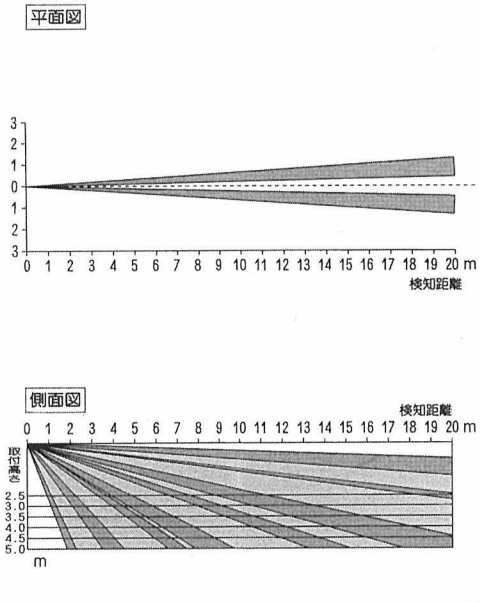
5. エリア図

1) エリア図

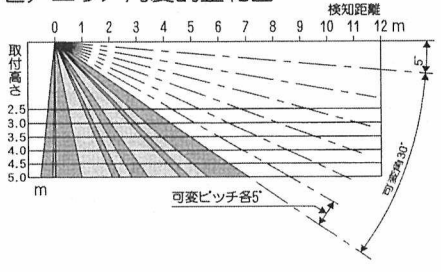
WCX-12W／12WⅡ／12WⅢエリア図

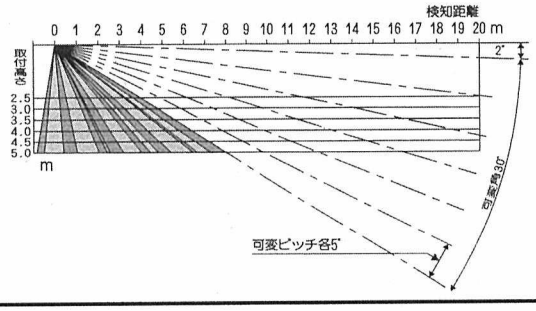


WCX-20N／20NⅡ／20NⅢエリア図



2) エリア角度調整範囲





ご注意

この製品は、検知エリア内に人が入ったときの温度変化を検知する方式です。周囲の温度によって検知距離が短くなったり長くなったりすることがあります。

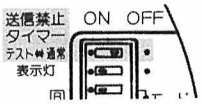
温度の変化を検知しているため静止している人などは検知しません。又、方向性があるためセンサに近づいてくる人などは検知しにくくなります。

6．取付け前の設定（各種スイッチ）

○以下の設定を必ずおこなってください。

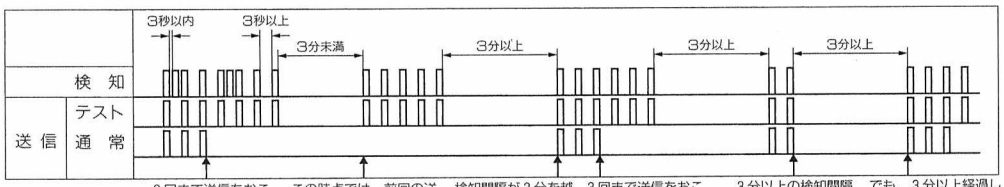
6－1．送信禁止タイマー

○送信回数を制約することができます。
電池寿命をのばすため、取付けが完了した後「通常」に設定してください。「テスト」のまま使用しますと、電池寿命が1年以下になることがあります。
各設定において以下のような動作をおこないます。



送信方式

送信禁止タイマーを「通常」に設定すると、3回送信後3分の送信禁止（ディレータイマー式：検知間隔が3分以上経過しない限り送信を行いません）になります。
検知が3回続いておこなわれず3分以上経過した場合、改めて3回送信をおこないます。

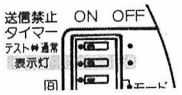


「通常」に設定すると→

3回まで送信をおこない送信禁止時間に入ります。
この時点では、前回の送信から3分以上経過していないので送信をおこないません。
検知間隔が3分を越えた次の検知から送信します。
3回まで送信をおこない送信禁止時間に入ります。
3分以上の検知間隔の後2回しか検知しませんでした。
でも、3分以上経過しますと送信回数のカウントはリセットされ又3回送信します。

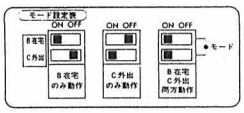
6－2．表示灯ON／OFFスイッチ

○警報表示灯を点灯・消灯することが出来ます。
受信器のローバッテリ表示が出た場合、この表示灯ON／OFFスイッチをONにし、検知させると、バッテリ電圧が下がっているセンサの表示灯が1秒間隔で点滅をします。（バッテリ電圧正常時は2秒間点灯）センサを複数取り付けられている場合に電池が消耗しているセンサの識別にご利用ください。
（ご注意）電池寿命をのばすため取付けが完了すればOFFにしてください。



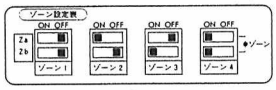
6－3－1．モード設定スイッチ（WCX-12W／20Nの場合）

○送信器をどの警戒モード用のものか区別します。
受信器を在宅警戒又は外出警戒にした時、動作してほしくない場所に取り付けられた送信器があった場合、そのモードのみをOFFにすることによって、システムの動作を制約する事ができます。
在宅モード・外出モードどちらもOFFにすると受信器が動作しなくなりますので必ず下の表のいずれかの設定にしてください。
例：勝手口に付いているセンサとリビングに付いているセンサがあった場合
勝手口に付いたセンサは在宅警戒中・外出警戒中ともに検知があれば受信器が動作してほしい。
リビングに付いたセンサは在宅警戒中動作してほしくない。
（このような場合）
勝手口のセンサ　⇨　B・在宅、C・外出両方動作　に設定。
リビングのセンサ　⇨　C・外出のみ動作　に設定。
（ご注意）WCX-12W／20Nは（防犯）来客モードで使用できません。



6－3－2．ゾーン設定スイッチ（WCX-12W／20Nの場合）

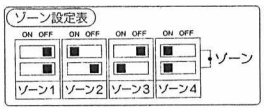
○検知した送信器を受信器で識別します。
受信器側でどの送信器の信号を受けたかを識別するための機能です。
スイッチの設定は、右の表に従い設定してください。
受信器の表示灯が設定したゾーンを示し点灯するため検知したセンサを識別を可能にします。



6－3－3．モード・ゾーン設定スイッチ（WCX-12WⅡ／20NⅡ、WCX-12WⅢ／20NⅢの場合）

○モード設定スイッチ
モード設定は受信器側で、モード送信をおこなってきた送信器がどのモードに設定されているかを識別するための機能です。
Bモード・Cモードのどちらかを必ずONにして下さい。又、Bモード・Cモード両方のスイッチをONにしますと受信器側で判別しにくくなります。

○ゾーン設定スイッチ
ゾーン設定は受信器側でどの送信器の信号を受けたかを識別するための機能です。
スイッチの設定は、右の表に従い設定してください。
受信器の表示で識別できるように各送信器のゾーン設定をおこなってください。

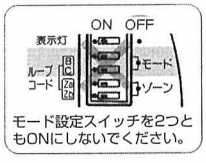


○8ループ管理の設定（上記に示したモード設定とゾーン設定を組み合わせて1～8のループに分けて管理をします。以下をご参考ください。）
モード設定スイッチとゾーン設定スイッチの組み合わせにより、受信器で受信するループ番号が決まります。

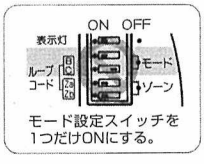
		モード設定スイッチ	
		B（在宅警戒）モード	C（外出警戒）モード
ゾーンスイッチ	ゾーン1	ループ1	ループ5
	ゾーン2	ループ2	ループ6
	ゾーン3	ループ3	ループ7
	ゾーン4	ループ4	ループ8

表の見方　例）WCX-12WⅡ・20NⅡモード設定スイッチを「C」、ゾーン設定スイッチを「3」にすると、WLR-800で「ループ7」と表示されます。
WCX-12WⅢ／20NⅢをWLR-400と使用するときは、ループ5～8の設定は、しないでください。受信することが出来なくなります。

ご注意　モード設定スイッチはB・Cどちらかのみ ONにしてください。



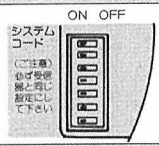
モード設定スイッチを2つともONにしないでください。



モード設定スイッチを1つだけONにする。

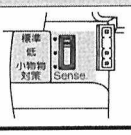
6－4．システムコード

○他の小電力ワイヤレスセキュリティとの混信防止のためのコードの設定機能です。
システムの設定時には、混信防止のため、システムコードを出荷時と違う設定にしてご使用ください。混信する場合には、システムコードの変更（送信器・受信器全て）をおこなってください。
（ご注意）送信器と受信器のシステムコードは、必ず同じに設定してください。



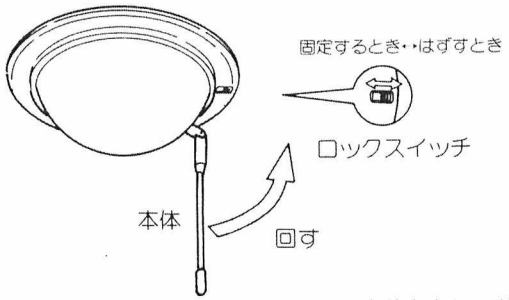
6－5．感度設定

○使用環境に応じて設定しておこないます。
通常は「標準」でお使いください。
誤報の多い設置場所につきましては、「低」または「小動物対策」に設定してご使用ください。
（WCX-20NⅡには「小動物対策」の設定はありません。）



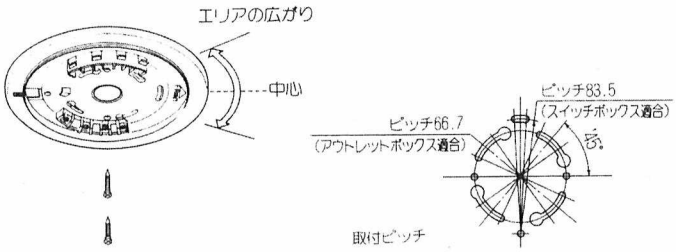
7. 取付け方法

①本体とベースをはずす



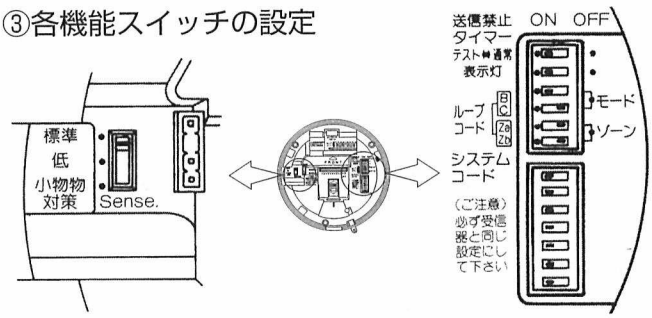
ロックスイッチを外側へスライドし、本体を左に回せばはずれます。

②取付ベースの取付け



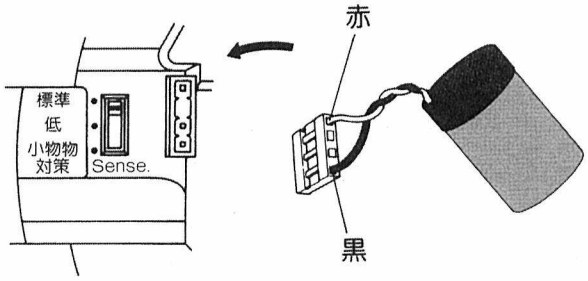
ベースのFRONTマークを警戒したい方向の中心へ向け取付けてください。

③各機能スイッチの設定



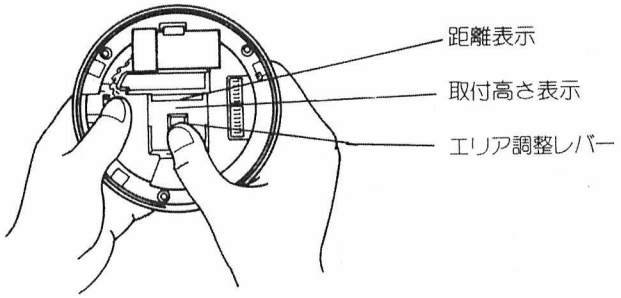
「6.取付け前の設定」を参照して下さい。
但し、この時点では送信禁止タイマーの設定は３秒にしておいてください。

④電池の接続



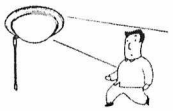
電池コネクターには方向性があります。ご確認のうえ接続をおこなってください。

⑤本体裏側のエリア調整レバーでエリアの上下角を調整して下さい。



「８.エリア設定」を参照してください。

⑥本体の取付け、エリアの確認。

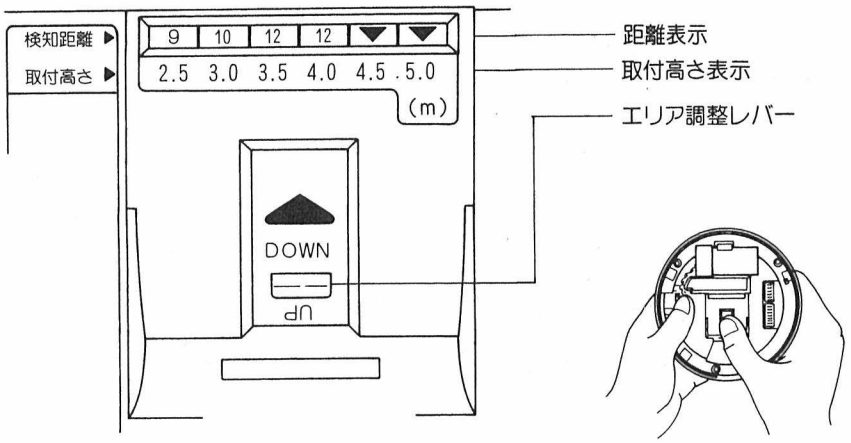


ご注意
電池の接続後約90秒のウォームアップ時間内は動作しません。

本体を取付けベースにはめ込み、ロックしてください。
アンテナは垂直にしてください。
電池の接続後約90秒でセンサーが動作を始めます。受信器と合わせた動作確認・個別登録をおこなってください。
次に検知エリアの確認をおこなってください。
確認後本体を外し送信禁止タイマーの設定を「通常」にして再び取付ベースにはめ込んでください。
（ご注意）「テスト」のまま使用しますと、電池寿命が１年以下になることがあります。

8. エリアの設定

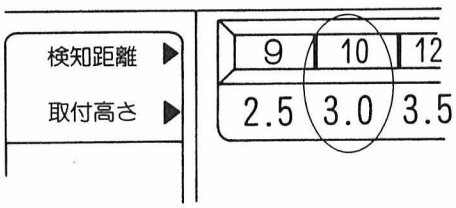
○エリアの上下角は本体裏側のエリア調整レバーでおこなってください。



○取付高さに対して警戒したい最長距離が表示されるようにエリア調整レバーで設定します。

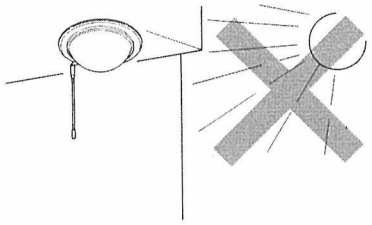
例：取付高さが3.0mで最長距離10m警戒の場合は取付高さが3.0m・検知距離の目盛りが10を表示するようエリア調整レバーを設定します。

（最長距離の検知エリアは床面から0.5～1.5mの高さになります。（「5.エリア図」参照）

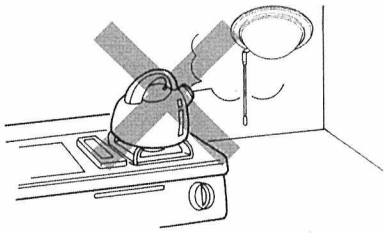


9. 正しくご使用いただくために

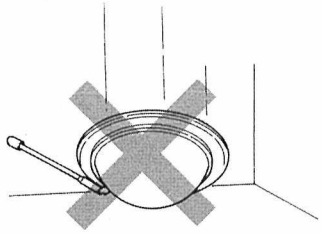
ワイヤレスセキュリティシステム／ワイヤレスセキュリティシステムⅡ／ワイヤレスセキュリティシステムⅢ
をご使用になる際は、下記の項目にご注意下さい。



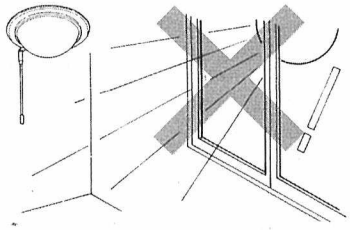
屋外ではご使用にならないでください。



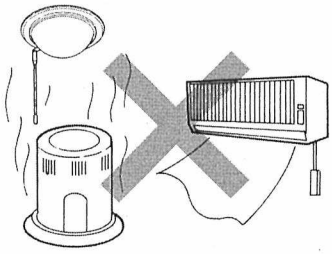
水、湿気、油などのかかる場所で使用しないでください。



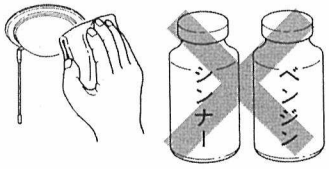
強い衝撃を与えないでください。



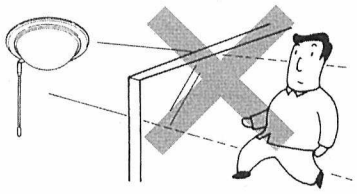
太陽の直射日光が当たらないようにしてください。



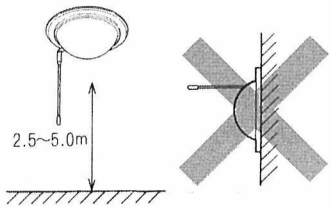
急激な温度変化が起こる場所に取付けないでください。



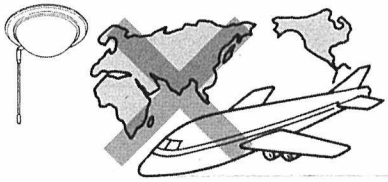
汚れた場合、薬品を使わず柔らかい布で拭いてください。



検知エリアが遮られないようにしてください。
（透明ガラス等も遮光物体となります。）



取付高さが５mを超えないようにしてください。
壁面には取付けないでください。



海外で使用しないでください。その国の法律で罰せられることがあります。

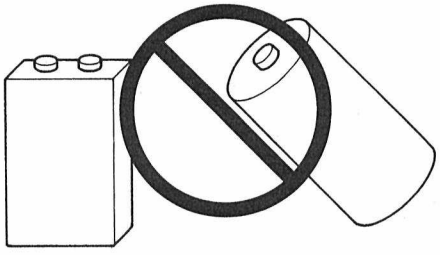
次の条件で使用しますと、電波の到達距離が100mより短くなることがあります。

○送信器と受信器の間にスチールドア、鉄筋コンクリートなど金属製の障害物がある場合。
○送信器もしくは受信器の取付け面が金属製の場合。
○放送局などの強い電波を出しているところの近く。
○高圧線などの電気的ノイズが多い所の近く。
○受信器のアンテナがいっぱいまでのびていない場合。

受信器にありますバッテリ表示灯が点滅し始めますと間もなく電池が無くなります。速やかにご購入頂きました警備会社、工事店等にご連絡ください。

10. 電池の交換

⚠ 警告



指定の電池以外は使用しないでください、火災や機器破損の恐れがあります。
指定電池：3.6Vリチウム電池　TL-5920-B

○システムを使用されている際、以下のような場合（ローバッテリ表示）は、電池の交換をおこなってください。

①送信器の表示灯ON／OFFスイッチをONにし検知させると通常点灯する表示灯が点滅する。
②受信器に設けられているローバッテリ機能が働く。

○リチウム電池を新品に交換してもローバッテリ表示が出ることがあります。この場合は電池を活性化させる為に数回連続検知させて下さい。通常の状態に戻ります。
○当商品で使用しておりますリチウム電池は、販売されているものではございません。従って、リチウム電池が消耗した場合はご購入頂きました警備会社又は工事店等にお問い合せください。

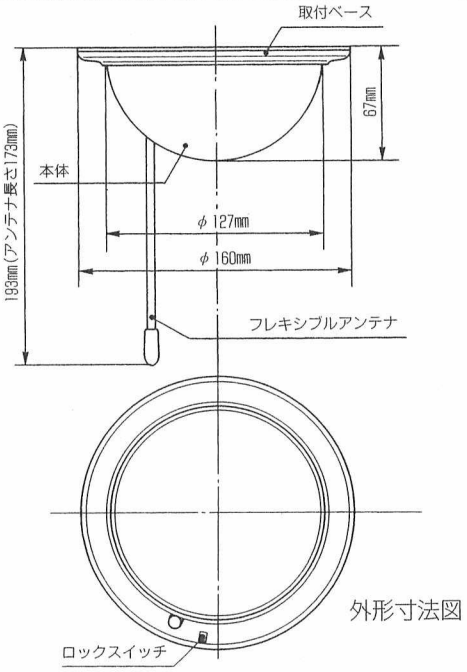
11. 異常時の点検

検知エリア内に人がいてもまったく動作しない	電池は正しく接続されていますか。	⇨	電池コネクターを正しく接続してください。
	電池が消耗していませんか。 （受信器のバッテリ表示灯が点滅していませんか。）	⇨	ご購入いただきました警備会社、又は工事店にお問いあわせください。
	電池を接続してから約90秒たちましたか。	⇨	約90秒間お待ちください。
	エリアを遮る物はありませんか。	⇨	遮る物を取り除くか、遮られない所に取付けるようにしてください。
	表示灯ON／OFFスイッチがOFFになっていませんか。	⇨	OFFになっていた場合、動作はしていますが本製品のみでは動作の確認はできません。ONにするか、受信器で確認してください。
	システムコードは受信器と同じ設定になっていますか。	⇨	受信器と同じ設定にしてください。
	エリアの向き、設定距離は適切ですか。	⇨	エリア図をご確認の上、再調整してください。（5章・8章参照）
検知エリア内に人がいても検知したりしなかったりする	エリアの向き、設定距離は適切ですか。	⇨	エリア図をご確認の上、再調整してください。（5章・8章参照）
	本体ドーム部表面に汚れ等ありませんか。	⇨	柔らかい布でふき取ってください。
	送信禁止タイマーの設定が「通常」に設定してありませんか。	⇨	一度動作してから検知のない状態で3分以上経過後動作していれば、正常です。（「6－1、送信禁止タイマー」参照）
検知エリア内に人がいないのに動作する	エリア内に犬や猫等の小動物が出入りしていませんか。	⇨	感度設定を「低」又は「小動物対策」に設定してください。（「6－5、感度設定」参照）
	エリア内にカーテン等動く物はありませんか。	⇨	エリアからはずれるように動く物を移動するか、エリアの調整をおこなってください。
	エリア正面から太陽光、車のヘッドライト等の直射はありませんか。	⇨	エリア正面からの光の直射を避け、エリアが窓に向かないよう取付け直してください。
	取付け場所が急激な温度変化・風を受けていませんか。（例えばエアコンの吹き出し口の近く）	⇨	急激な温度変化・風を受けない場所に取付け直してください。
	取付け部が動いていませんか。	⇨	しっかりと固定できる場所に取付け直してください。
	エリア内に急激な温度変化を起こす物（ストーブ、ファックス等）はありませんか。	⇨	エリアからはずれるように温度変化を起こす物を移動するか、エリアの調整をおこなってください。
	ご近所でワイヤレスセキュリティシステムを使われていませんか。（ご近所の信号を受信器が受けている可能性があります。）	⇨	システムコードの設定変更をおこなってください。
外部への連絡をおこなわない	自動通報機は動作していますか。	⇨	受信器と自動通報機の接続が正しくおこなえているか確認してください。

以上の点検を行っても原因のわからないときは、お買い上げ店もしくは弊社へご相談ください。

12. 仕様

		小電力セキュリティシステムの無線設備 人体検知器付送信器					
		ワイヤレスセキュリティシステム		ワイヤレスセキュリティシステムⅡ		ワイヤレスセキュリティシステムⅢ	
		WCX-12W	WCX-20N	WCX-12WⅡ	WCX-20NⅡ	WCX-12WⅢ	WCX-20NⅢ
受信器		WCB-400（別売）		WLR-800（別売）		WLR-100／400（別売）	
PIR部	検知エリア	12m（立体警戒）	20m（面警戒）	12m（立体警戒）	20m（面警戒）	12m（立体警戒）	20m（面警戒）
	検知エリア本数	80本	16本	80本	16本	80本	16本
	感度切換スイッチ	3段階（標準・低・小動物対策）	2段階（標準・低）	3段階（標準・低・小動物対策）	2段階（標準・低）	3段階（標準・低・小動物対策）	2段（標準・低）
	検知方式	パッシブインフラレッド方式					
	表示灯	検知時点灯（スイッチにより消灯可能）					
	ウォームアップ時間	約90秒					
	タンパ	本体を外すと送信・受信器にて表示					
送信器部	送信出力	10mW $^{+20\%}_{-50\%}$					
	送信時間	2.5秒以下					
	使用周波数	426MHz帯					
	電波形式	F2D					
	標準電波到達距離	100m（但し周囲の状況により距離が短くなることがあります。）					
	送信禁止時間設定スイッチ	設定切換（テスト・通常）					
設定機能	モード設定数	4モード				−	−
		A.来客	B.在宅 C.外出	D.非常・火災		−	−
	受信ゾーン設定数	4ゾーン		1ゾーン		−	−
	受信ループ設定数	−			8ループ		4ループ／1ループ
	システムコード切換（混信防止）	128通り					
電源		リチウム電池：DC3.6V（付属）					
電池寿命		約8年（1日100回送信）					
使用温度範囲		−10℃～+50℃					
使用場所		屋内					
重量		約280g					
付属品		取り付けビス ヨビ4×L20 2本、リチウム電池 3.6V 1個					



外形寸法図

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

＜お断り＞　この商品は侵入者を検知し、警報を発するもので盗難防止器ではありません。万が一発生した盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承下さい。

保　証　書　WCX-12W／20N／12WⅡ／20NⅡ／12WⅢ／20NⅢ

保証期間 お買い上げ年月日 より 1年間	販売店名
お客様 ご住所（〒　　） （TEL　　） お名前	＜お願い＞ ○太線枠内はお買い上げ時に必ず記入を受けてください。記入無き場合、本書は無効となります。 ○本書は大切に保存して下さい。再発行はいたしません。

〈保証規定〉

Ⅰ．保証の範囲
1．取扱い説明書に記載された正常な使用状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買い上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申し付けください。
2．この保証は全国に記載された製品について、日本国内に限り通用いたします。

Ⅱ．保証の範囲
次に該当する故障は、保証期間（お買い上げ日より1年間）であっても実費にて修理を申し受けることがあります。
1．誤った取扱い、不当な修理・改造を受けた製品の損傷に起因する故障。
2．災害など不可抗力による損傷。
3．本書紙面に必要事項の記入がない場合。また本書の提示がない場合。

オプテックス株式会社
本　　社 〒520-0101 滋賀県大津市雄琴5丁目8番12号
TEL（077）579-8620　FAX（077）579-8170
東京営業所 〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-14-1　新宿ｸﾞﾘｰﾝﾀｰﾜｰﾋﾞﾙ19F
TEL（03）3344-6476　FAX（03）3344-5734

'01.5　5908970　MADE IN JAPAN